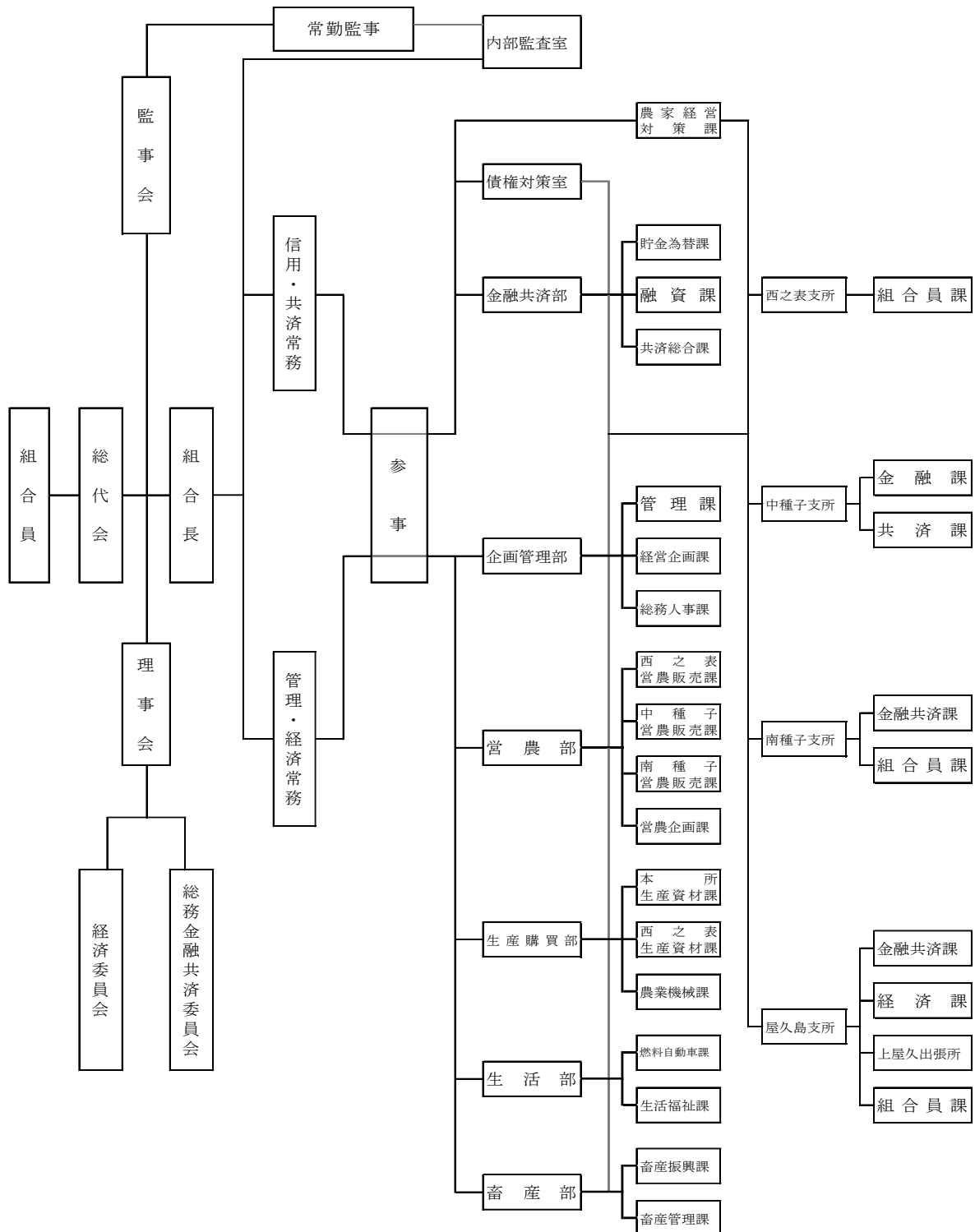


【JAの概要】

1. 機構図

2026 年 6 月 25 日現在



(注) 2026年4月1日に機構改革を実施しました。

2. 役員構成（役員一覧）

（2026年6月現在）

役 員	氏 名	役 員	氏 名
代表理事組合長	宮 脇 幸 喜	代表監事	岩 川 憲一郎
常務理事	脇 田 峰 生	常勤監事	中 目 啓 喜
常務理事	八 汐 積	監 事	松 村 隆 浩
理 事	中 村 正 幸	員外監事	園 田 博 己
〃	田 中 義 人		
〃	岩 次 則		
〃	鎌 田 昭 一		
〃	砂 坂 浩 一 郎		
〃	古 市 康 秋		
〃	岩 川 原 造		
〃	益 田 達 矢		
〃	岩 元 宮 子		
〃	里 信 子		

3. 会計監査人の名称

みのり監査法人（2026年6月現在） 所在地 東京都港区芝5-29-11 G-BASE 田町

4. 組合員数

（単位：人、団体）

区 分	2024年度	2025年度	増 減
正組合員	3,945	3,832	△113
個 人	3,880	3,771	△109
法 人	65	61	△4
准組合員	3,664	3,598	△66
個 人	3,490	3,440	△50
法 人	174	158	△16
合 計	7,609	7,430	△179

5. 組合員組織の状況

(単位 : 人)

組 織 名	構 成 員 数
農協利用者 年金友の会	4,207
きび・甘藷振興会 (西之表市、中種子町、南種子町)	1,285
野菜部会協議会 (西之表市)	462
園芸振興会 (中種子町、南種子町)	
野菜部会 (屋久島町)	
果樹振興会 (中種子町、屋久島町)	158
茶振興会 (南種子町)	3
花き振興会 (種子島、屋久島)	134
水稻部会 (西之表市、中種子町、南種子町)	376
パッション部会 (西之表市、屋久島町)	52
和牛振興会 (西之表市、中種子町、南種子町、屋久島町)	322
和牛ヘルパー組合 (西之表市、中種子町、南種子町)	65
青壮年部 (西之表市、中種子／南種子町)	33
女性部	140
青色申告会	488
助さん部会	7

当 J A の組合員組織を記載しています。

6. 特定信用事業代理業者の状況

信用事業に関する代理業者はありません。

7. 地区一覧

西之表市・中種子町・南種子町・屋久島町

8. 沿革・あゆみ

2006年	4月	旧JA西之表市、旧JA鹿児島くまげ、旧JA屋久島が合併し「JA種子屋久」誕生（貯金355億、出資金27億、組合員数9,982人）
2006年	10月	熊本畜産事業農業協同組合連合会を包括承継
2008年	3月	貯金363億、貸出金108億
2009年	3月	貯金372億、貸出金101億
2010年	3月	貯金373億、貸出金110億
2011年	3月	貯金387億、貸出金114億
2011年	10月	事業部制移行に伴い本所を中種子に移転
2012年	3月	貯金394億、貸出金119億
2013年	3月	貯金397億、貸出金129億
2014年	3月	貯金407億、貸出金131億
2015年	3月	貯金409億、貸出金142億
2016年	3月	貯金423億、貸出金107億
2017年	3月	貯金457億、貸出金116億
2018年	3月	貯金468億、貸出金116億
2019年	3月	貯金485億、貸出金123億
2019年	3月末	東海出張所の信用事業機能を閉鎖
2020年	3月	貯金491億、貸出金125億
2020年	3月末	東海出張所を閉鎖
2021年	3月	貯金504億、貸出金105億
2022年	3月末	口永良部出張所を閉鎖
2022年	3月	貯金532億、貸出金114億
2023年	3月	貯金545億、貸出金116億
2024年	3月	貯金563億、貸出金134億
2025年	3月	貯金584億、貸出金134億
2026年	3月	貯金569億、貸出金155億

9. 店舗等のご案内

店舗及び事務所名	住 所	電話番号	ATM（現金自動化機器）設置・稼働状況
西之表金融本店	西之表市西町 6974	0997-22-1212	2 台
中種子支所	中種子町野間 5281	0997-27-1212	2 台 (中種子支所・Aコープ)
南種子支所	南種子町中之上 2450	0997-26-1211	1 台 (Aコープ)
屋久島支所	屋久島町尾之間 351	0997-47-2211	1 台
上屋久出張所	屋久島町宮之浦 2377-1	0997-42-1000	1 台

（2026年6月現在）

J A綱領

— わたしたち J A のめざすもの —

わたしたち J A の組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。

そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは、

一、地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。

一、環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。

一、J A への積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。

一、自主・自立と民主的運営の基本に立ち、J A を健全に経営し信頼を高めよう。

一、協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

J A 種子屋久

2025 版(2026 年 7 月)

J A 種子屋久 ディスクロージャー誌